

芽室町農業振興計画策定検討会議 第2回委員会（書面開催）における意見等一覧

| 役 職 | 氏 名 (敬称略) | 意 見 内 容 |
|------|-----------|---|
| 委員長 | 宇野 克彦 | 検討内容については、各部会での検討を尊重し意見なし。 今後については、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を注視して対応願いたい。 |
| 副委員長 | 橋本 正彦 | 意見なし |
| 委員 | 川東 浩幸 | ①農村部における光通信の予定は如何に？ ②農村部全戸の上水道の普及予定は？ ③ハンターの担い手不足について、町職員やJA職員の業務の一部としての確保は可能か？（自衛隊OBの準職員化） |
| 委員 | 島部 亨 | 意見なし。 |
| 委員 | 西村 直樹 | ①全体を通して、様々な文体が混用されているので、「ですます調」などに文体を統一して下さい。 ②基盤整備部会の検討項目2－課題（2）－取組②で「畑地かんがい施設整備を進める」としてありますが、畑地かんがいについては整備に莫大な費用を要するのに対して、その投資効果が判然としません。費用対効果分析を実施していると思いますので、分析結果を示していただきますようお願いします。 ③経営部会の検討項目2－課題（2）の取組①でJAめむろが推進する「十勝めむろ」ブランドの確立に向けた施設整備や販路拡大について側面的支援を行うとしていますが、JAめむろでは、畜産・酪農経営において、どのようなブランド化を進めようとしているのか、具体的に教示願います。また、ブランド化を進めるための施設整備として、計画していることがあれば、具体的に教示願います。 ④担い手対策部会の検討項目1について、担い手対策の一つとして「配偶者対策」を掲げることに、強い違和感を覚えます。そもそも、結婚という私事に公が関与する必要があるのでしょうか。農業を一つの産業として捉えて振興しようとするのなら、その担い手は誰でも良いのではないのでしょうか。女性を家（農家）の存続のための道具と見なす、古い体質の存在を疑わざるを得ません。 ⑤担い手対策部会の検討項目3－課題（3）で「農福連携の推進」に取り組むようですが、農福連携を検討する際には、健常者の賃金と同一の賃金が障害者に支払われるような仕組みを検討していただくようお願いします。健常者の賃金と比べて大幅に低い賃金しか支払われない農福連携では、単なる奴隷労働との誇りを免れません。 |

| 役 職 | 氏 名 | 意 見 内 容 |
|-----|-------|---|
| 委員 | 堀内 正洋 | <p>①経営部会の検討項目1と2の課題(3)は畑作、畜産は、ほぼ同じ内容なので、統合して検討項目3経営支援体制の強化とした方がよいと思います。</p> <p>②検討項目1と2の課題(2)の国際情勢への対応については、理由、施策の報告、取組ともに抽象的表現で具体的に何をしていくのか判り難しくなっています。「中小規模の畜産農家支援など畜産・酪農の経営基盤支援等により」という記述は何を指すか、規模拡大無しには取組②の酪農基盤整備構想を用いた経営が、「生産コストの低減」につながるとは考えにくく、利用する際は規模拡大のスケールメリットを活かすことや現状維持の経営はブランド化による生産物の販売単価のアップを目指すなど、いくつかの類型のようなものを示した方がよいのではないのでしょうか？(または類型を策定し取り組み内容を精査することがまず必要な内容として記載するのか)</p> |
| | 6名 | 10件 |